

## 令和3年度事業報告

### 1. 大学地域連携課題解決支援事業

- (1) 令和3年度実施事業として、継続7件、新規12件に助成を行った。
- (2) 環びわ湖 大学地域交流フェスタ 2021  
12月5日(日) 10:00~13:30 オンライン(ZOOM)で実施。  
令和3年度は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、感染のリスクを避けるため、令和2年度同様、ディスカッション等による地域との交流は中止とし、学生の間接報告会(活動報告)のみオンラインにより実施した。
- (3) 令和4年度実施事業を募集し、大学地域連携課題解決支援事業選考委員会(成安造形大学、長浜バイオ大学、立命館大学、びわこ学院大学、部会主担当)において選考を行い、継続10件、新規9件の助成を決定した。

### 2. 学生支援事業

- (1) 事業の実施  
「学生による滋賀のSDGsや地域の魅力の発信」を方針とし、県内大学の学生により組織される学生委員会と連携し、持続可能な社会を実現する活動の情報を発信するブックレットの制作などの事業に取り組んだ。
- (2) 実施内容
  - ・SDGsマップの作成・公開
  - ・県内の大学でのイベントへの参加  
(滋賀県立大学で開催された「キャンパスSDGsびわ湖大会2021」へ参加)
  - ・SDGsキャラバンの実施
  - ・『SHIGA SDGs Studios+ Booklet 2021』の制作・配布
  - ・環びわ湖大学・地域交流フェスタ2021への参加

### 3. 就職支援事業

- (1) 合同企業説明会  
10件の合同企業説明会に協力した。
- (2) 情報交換会、研修会
  - 滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会：12月9日(木)
  - 就職支援に関する意見交換会：9月9日(木)
  - 大学就職担当者間の情報交換会・研修会：1月21日(金)
- (3) 学生対象就職イベント「しが就活塾」  
9月25日(土)にWeb(Zoom)で開催した。
- (4) 企業採用経験者による模擬面接会  
6月30日(水)にしがジョブフェア内で実施した。

### 4. 単位互換事業

- (1) 提供科目：65科目

(2) 受講科目及び受講者数：25 科目 67 名

## 5. 広報事業

### (1) ホームページの更新

各事業についての「お知らせ」をホームページに掲載した。

組織図・役員一覧・財務状況など「コンソーシアムについて」のページを更新した。

SDGs への取組内容などの活動報告を記載した。

### (2) アクセス統計

・ユーザー数	13,171 件
・セッション数	18,067 件
・ページビュー数	46,955 件

## 6. 県内大学等と地域のパートナーシップ推進に関する政策研究事業

### (1) 大学連携政策事業推進委員会の開催（7月27日、12月15日）

### (2) 他地域におけるパートナーシップ事業の事例調査（6事業）

・COC+R 事業 地域の基幹産業を再定義・創新する人材育成プログラム「ENGINE」：信州大学

・ソーシャル・イノベーション創出センター（CSI）：長野県立大学

・金沢市近郊私立大学等の特色化推進プラットフォーム：金沢工業大学

・めぶく。プラットフォーム前橋：共愛学園前橋国際大学

・青森創生人材育成・定着推進協議会：弘前大学

・しまね産学官人材育成コンソーシアム：島根大学

### (3) 報告書の作成

3月末に報告書を作成し、滋賀県に提出。環びわコンソーシアムのホームページに掲載。

以上

## 2021（令和3）年度 大学地域連携課題解決支援事業 報告

### 1. 担当

主担当 滋賀大学

副担当 聖泉大学、大津市、甲賀市

### 2. 2021（令和3）年度事業報告

第1回事業部会 6月21日(月)

1. 大学地域連携課題解決支援事業計画について
2. 大学地域連携課題解決支援事業選考委員会設置要綱の一部改正について
3. 環びわ湖大学地域交流フェスタについて
4. 地域課題の捉え方について

第2回事業部会 8月31日(火)

1. 環びわ湖大学地域交流フェスタについて
2. 地域課題の捉え方について

第3回事業部会 10月21日(木)

1. 環びわ湖大学地域交流フェスタ 2021 について

第4回事業部会 12月23日(木)

1. 2022年度支援事業募集案内について
2. 2022年度部会予算について

第5回事業部会 3月23日(水)

1. 2022年度支援事業の採択について
2. 2021年度支援事業の報告について
3. 交流フェスタの開催方法について

#### ・環びわ湖大学地域交流フェスタ 2021 について

日程：12月5日(日) 10時から

場所：オンライン（ZOOM）で実施

内容：中間報告会

地域課題解決支援事業 19件、学生事業部会 1件、計 20件の活動報告

・2021（令和3）年度大学地域連携課題解決支援事業 実施事業一覧

事業	番号	大学	自治体	テーマ	支援額 (円)	決算額 (円)
継続	1	びわこ学院大学	滋賀県	大学生による子どもたちへの性犯罪予防の SNS の使い方啓発活動 ～S（スマート）にN（ネット）を使えば S（スマイル）に～	100,000	94,483
継続	2	びわこ学院大学	大津市	就学前児童から科学の面白さを体感させる実験・ものづくりプロジェクト -大津市科学館「わくわくサイエンス」 事業を活用して-	110,000	109,940
継続	3	滋賀県立大学	大津市	「お弁当ラリー」を通じた「大津ナカマチ SDGs 商店街」プロジェクト	128,000	9,682
継続	4	龍谷大学	東近江市	地域活性化につながるモノ・コトの探求と吸引力の創出 （「市」を通じた地域の活性化—中山間の「位置」エネルギーを創出—）	129,000	128,723
継続	5	立命館大学	甲賀市	朝宮茶の魅力創造する旅 甲賀の茶（朝宮茶、土山茶）から発信する「すべての人に健康と福祉を（SDGs）」	138,000	94,304
継続	6	立命館大学	甲賀市	国史跡紫香楽宮跡を活かした地域振興について	129,000	121,165
継続	7	立命館大学	草津市	芦浦観音寺納豆再現プロジェクト	138,000	0
新規	1	滋賀大学	長浜市	「サステナビリティ・マップの創造」 一言で言えない風景×都市住民をひきつける空き家×地域コミュニティカ	129,000	128,723
新規	2	聖泉大学	彦根市	十人十色プロジェクト （性の多様性を知ってもらおう！）	138,000	138,000
新規	3	滋賀県立大学	彦根市	Explore Hikone!!～地域マップの多言語化を通して多文化共生をすすめよう～	150,000	49,326
新規	4	龍谷大学	滋賀県	地域の笑顔を SNS で届ける —シニアボランティアの ICT ツール習得支援—	75,000	0
新規	5	びわこ学院大学	東近江市	東近江市中心市街地活性化に関する実証的研究	129,000	127,579
新規	6	びわこ学院大学	東近江市	子どもの手がた足がたを用いたオリジナルグッズづくりを通して、楽しもう、知ろう、広めようオレンジリボン運動×SDGs	133,000	132,875
新規	7	びわこ学院大学	東近江市	ポストコロナにおける大学生によるカナヅチ児童を対象とした水泳教室 ～運動介入による小大連携への模索～	133,000	127,634
新規	8	びわこリハビリテーション専門職大学	東近江市	いきいき生活プロジェクト - 頭と体のリフレッシュ -	150,000	150,000

新規	9	長浜バイオ大学	長浜市	びわ湖の森の生き物「トチノキ」の電 顕画像を発信する	128,000	127,902
新規	10	長浜バイオ大 学	長浜市	河川再生プロジェクトと科学に対する 学びの場の提供	124,000	123,891
新規	11	龍谷大学	草津市	AR コンテンツを用いた草津の魅力発信	129,000	114,989
新規	12	滋賀大学	彦根市	琵琶湖よ、自然に還れ“未来への遺 産”	110,000	109,173

・2022（令和4）年度大学地域連携課題解決支援事業 採択事業一覧

□活動提案の募集対象自治体

滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、甲賀市、東近江市

□募集期間

2022（令和4）年1月7日（金）～2月18日（金）16時必着

□支援（助成）期間

2022（令和4）年4月～2023（令和5）年3月

事業	番号	大学	自治体	テーマ	支援額 (円)
継続	1	滋賀大学	長浜市	「サステナビリティ・マップの創造」 移住と関係人口を増やす景観・空き家・地域コミュニティの魅力発信	121,000
継続	2	聖泉大学	彦根市	十人十色プロジェクト（性の多様性を知ってもらおう！）	130,000
継続	3	滋賀県立大学	彦根市	Explore Hikone!!～地域マップの多言語化を通して多文化共生をすすめよう～	150,000
継続	4	龍谷大学	滋賀県	地域の笑顔をSNSで届けるーシニアボランティアのICTツール習得支援ー	95,000
継続	5	びわこ学院大学	東近江市	東近江市中心市街地活性化に関する実証的研究	130,000
継続	6	びわこ学院大学	東近江市	ポストコロナにおける、水泳を苦手とする児童を対象とした大学生による水泳教室 ～運動介入による小大連携への模索～	108,000
継続	7	びわこリハビリテーション専門職大学	東近江市	いきいき生活プロジェクト ー頭と体のリフレッシュー	130,000
継続	8	長浜バイオ大学	長浜市	びわ湖の森の生き物「トチノキ」の電顕画像を発信する	140,000
継続	9	長浜バイオ大学	長浜市	河川再生プロジェクトと科学に対する学びの場の提供	145,000
継続	10	龍谷大学	草津市	ARコンテンツを用いた草津の魅力発信	113,000
新規	1	立命館大学	草津市	キャンパス周辺の地域資源を活かしたウォークアブルなまちづくり	130,000
新規	2	立命館大学	草津市	サルベージレシピの活用による食品ロス削減と循環型社会形成	130,000
新規	3	成安造形大学	彦根市	彦根マラリアートプロジェクト	130,000
新規	4	成安造形大学	大津市	店舗から排出されるゴミ問題に着目したアップサイクルデザイン	150,000
新規	5	龍谷大学	草津市	ウィズコロナにおけるフードドライブ事業支援	97,000
新規	6	びわこ学院大学	東近江市	「手をあげて わたろう」運動啓発動画 DVD の制作	144,000

新規	7	長浜バイオ大学	長浜市	滋賀県の稲作を害虫被害から守り 地域の方へ稲作の魅力を発信	127,000
新規	8	びわこ学院大学	滋賀県	「親子で考えよう！今どきのコミュニケーション」 安全なペアレンタルコントロールの啓発活動	100,000
新規	9	びわこ学院大学	大津市	科学館事業に参加をする子どもたちと大学生 の関わりの在り方を求めて —大津市科学館とびわこ学院大学との連携—	130,000

・環びわ湖大学地域交流フェスタ2022

→開催方法を含め検討中

以 上

## 令和3年度 学生支援事業 報告

### 1. 担当

主担当 立命館大学  
副担当 龍谷大学、成安造形大学  
参画 各大学

### 2. 事業概要

2021（令和3）年度の学生支援事業は、前年度の事業コンセプトである「学生による滋賀のSDGsや地域の魅力の発信」を継承し、県内大学の学生により組織される学生委員と連携して、持続可能な社会を実現する活動の情報を発信するブックレットの制作などの事業に取り組んだ。

### 3. 事業報告

#### （1）学生支援事業部会議の開催

第1回学生支援事業部会 2021年5月13日（木）

- ・2021年度学生支援事業について
- ・委託業者の決定について

第2回学生支援事業部会 2021年9月2日（木）

- ・事業の進捗状況について
- ・成果報告会について

第3回学生支援事業部会 2022年1月11日（火）

- ・2021年度学生支援事業の報告について

第4回学生支援事業部会 2022年2月16日（水）

- ・2022年度の学生支援事業の計画案について

#### （2）学生委員会

##### ①学生の募集

2021年6月1日（火）～6月14日（月）の期間に学生募集をし、7大学36名の学生から応募があった。学生委員会に参加した学生は、以下のとおりである。

立命館大学	龍谷大学	成安造形大学	滋賀大学	滋賀県立大学	聖泉大学	びわこ学院大学	合計
5名	19名	1名	7名	1名	1名	2名	36名

②第1回レクチャー 2021年7月13日（火）18:00～20:00 ※オンライン開催

参加者：学生委員34名（欠席2名）、職員3名

内容：SDGs講座

③第2回レクチャー 2021年8月10日（火）13:00～16:00 ※オンライン開催

参加者：学生委員32名（欠席4名）、職員2名

内容：取材・記事作成講座

④フィールドワーク 2021年8月11日(水) 13:00~16:30

参加者：学生委員 36名、職員 3名

内容：まん延防止等重点措置の適用を受け、オンラインに変更した。  
当初に訪問予定だった場所(5か所)に分かれて実施した。

【オンラインフィールドワークの様子】

＜大津市＞ 大津市企業局より中継し、同局の取組について紹介した。その後、動画で「水道水の旅」を視聴しオンラインで浄水場見学を実施した。



＜甲賀市＞ 甲賀市役所より中継し、「甲賀市の15年のあゆみ」についてを紹介した。その後、信楽町より陶芸家・篠原 希氏に、陶芸家の視点からの信楽の魅力について話を聞いた。



＜長浜市＞ 北国街道 安藤家より中継をつなぎ、長浜まちづくり株式会社の竹村 光雄氏から長浜そして黒壁の歴史や現在行われている新しいまちづくりについて話を聞き、質疑応答を実施した。



＜東近江市＞ あいとうふくしモールを運営している「特定非営利活動法人 NPO結の家」代表の太田 清蔵氏より施設の説明や取組を聞いた後に、インタビューを実施した。



＜彦根市＞ 玄宮園についての紹介の後、屋形船より中継をつなぎ、船上からの風景をオンラインで体験した。名古屋外国語大学の橋本 まりん氏に、地元である彦根市の魅力やアルバイトで関わっているヒコネビールについて話を聞いた。



⑤成果報告会 2021年9月21日(火) 13:00~16:00 ※オンライン開催

参加者：学生委員23名、(欠席13名)、オーディエンス17名

内容：完成した記事をもとにして「びわ湖とツーリズム」をテーマにしたプランを8チームが発表した。成果報告会に参加できなかった2チームは、後日動画を録画し別途報告をした。

⑥ブックレットの配布

12月下旬に環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局に4700部、滋賀県庁に300部のブックレットが納品された。その後、事務局より取材先や環びわ湖大学・地域コンソーシアム加盟団体、SDGsキャラバン実施校へ送付した。

### (3) SDGsマップの作成

昨年に続き、環びわ湖大学・地域コンソーシアムの参画大学で実施しているSDGsに関連するイベントや学生の自主的な活動等の情報を集約し、一体的に可視化できるようにマップを作成した。今年度は両面での構成とし、学外に向けて広く公開し学外の方も参加できる取組を中心に掲載した。完成したSDGsマップは、ブックレットに掲載した他、環びわ湖大学・地域コンソーシアムのHPにて公開した。

### (4) 県内の大学でのイベントへの参加

2021年11月20日(土)に滋賀県立大学で開催された「キャンパスSDGsびわ湖大会2021」へ学生委員5名が参加し、SHIGA SDGs Studios+の活動内容の報告と3つのツーリズムプランを発表した。



(画像) キャンパスSDGsびわ湖大会2021での活動報告の様子

### (5) SDGsキャラバンの実施

①滋賀県立伊吹高等学校 2021年11月2日(火)、16日(火) 14:25~15:15

参加者：学生委員1名(11月2日のみ参加)、生徒278名

内容：SHIGA SDGs Studios+の活動内容の説明後、学生委員より取組事例を紹介した。

②滋賀県立国際情報高等学校 2021年11月17日(水) 15:40~16:30

参加者：学生委員1名、生徒48名

内容：SHIGA SDGs Studios+の活動内容の説明後、学生委員より取組事例を紹介した。

③滋賀県立守山中学校・高等学校 2021年11月25日(木) 14:30~16:20

参加者：大学職員1名、生徒280名

内容：SDGsとMLGsについての説明とSHIGA SDGs Studios+の活動内容の説明の後、「ツーリズム」をテーマにしたワークショップを実施した。

④滋賀県立水口東中学校・高等学校 2021年12月9日（木）16:00～16:50

参加者：生徒3名（スーパーグローバルクラブに所属）

内 容：オンラインでスーパーグローバルクラブの活動に参加し、SHIGA SDGs Studios+の活動内容を説明した。



（写真）滋賀県立守山中学校・高等学校でのワークショップの様子

（6）環びわ湖大学・地域コンソーシアム「大学・地域交流フェスタ 2021」への参加

2021年12月5日（日）に開催された環びわ湖大学地域交流フェスタ 2021にて、学生支援事業の活動報告を行った。SHIGA SDGs Studios+の活動報告としてダイジェストムービーを放映し、代表の学生委員2名が取材内容について報告をした。

#### 4. 2022（令和4）年度事業計画および予算の検討

2022年2月16日（水）に開催した第4回学生支援事業部会議では、次年度の事業計画と予算について以下の通り協議をした。

- （1）2022年度は、龍谷大学が学生支援事業部会の主担当を務め、副担当は滋賀大学・聖泉大学が務める。
- （2）2021年度の事業のコンセプト「学生による滋賀のSDGsや地域の魅力の発信」を継承し、地域の魅力発信に貢献する事業を展開する。
- （3）2022年度は、学生の興味や暮らしへ密接性が高い内容である「びわ湖」「食」「地産地消」の視点を盛り込み、「びわ湖から考える、滋賀の食と地産地消」をテーマにして滋賀の魅力を探求する。
- （4）2022年度予算要求額は、学生委員会学生にかかわる交通費などの諸経費30万円、デザイン・印刷等の制作委託費150万円、印刷費や通信費等その他10万円の合計190万円とする。

以上

## 令和3年度 就職支援事業部会 事業報告

### 1 就職支援事業部会（14大学）

（主担当校）龍谷大学、（副担当校）滋賀大学、長浜バイオ大学

（参画校）滋賀医科大学、滋賀県立大学、立命館大学、成安造形大学、聖泉大学、  
びわこ成蹊スポーツ大学、びわこ学院大学、滋賀文教短期大学、滋賀短期大学、  
放送大学、びわこリハビリテーション専門職大学

#### （1）第1回就職支援事業部会

令和3年6月18日（金） 13：30～14：00 Web（Zoom）で開催 出席：12大学

#### （2）第2回就職支援事業部会

令和3年9月9日（木） 15：15～15：40 Web（Zoom）で開催 出席：10大学

#### （3）第3回就職支援事業部会

令和4年1月21日（金） 13：30～14：00 Web（Zoom）で開催 出席：10大学

### 2 2021（令和3）年度事業

#### （1）合同企業説明会

開催済 共催・協力：10件 広報協力：1件

中止：3件

#### （2）滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会

滋賀県若年者雇用促進事業（株式会社東京リーガルマインド）主催の大学と企業との情報交換会に参加。

令和3年12月9日（木） 10：00～12：00 キラリエ草津

参加企業：40社、参加大学：10大学

#### （3）就職支援に関する意見交換会・情報交換会・研修会

##### ①関係機関との意見交換会

令和3年9月9日（木） 13：00～15：00 Web（Zoom）で開催

参加関係機関：9機関、参加大学：10大学

##### ②大学就職担当者間の情報交換会・研修会

令和4年1月21日（金） 15：00～17：15 Web（Zoom）で開催

(4) 学生を対象とした就職活動に活かす就職イベント  
「しが就活塾」

令和3年9月25日(土) ①10:30~13:00 Web (Zoom で開催)

②14:00~16:30 Web (Zoom で開催)

参加学生:15名(延べ)、参加企業:10企業

(5) 企業採用経験者による模擬面接会

令和3年6月30日(水) しがジョブフェア内で大学生向け模擬面接実施  
実施人数:6名

(\*別紙一覧表を参照)

以上

	2021(令和3)年度事業	2020(令和2)年度事業
1)合同企業説明会	① 日時:6/30 「しがジョブフェア2021」 場所:クサツエスタジオホテル 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀県、滋賀若年者地域連携事業事務局、しがジョブパーク 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業:58社 参加学生:89名	「しがジョブフェア2020」 ⇒ 中止(「シガシルWEBジョブフェア2020」として開催) ※2019年度実績:8月に開催
	② 日時:6/16~6/25、7/7~7/16 「しがジョブLIVE」 ※オンライン開催 主催:滋賀県、しがジョブパーク 広報協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:14社 参加学生数:40名	日時:9/28~9/30、10/5~10/7 「シガシルWEBジョブフェア2020」 ※オンライン開催 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀県、滋賀経済産業協会、しがジョブパーク 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業:106社 参加学生数:144名(延べ参加人数:505名)
	③ 「湖東地域就職フェア」 ⇒ 中止	「湖東地域就職フェア」 ⇒ 中止 ※2019年度実績:8月に開催
	④ 日時:6/22 「甲賀市・湖南市合同JOBフェア」 場所:クサツエスタジオホテル 主催:甲賀市役所商工労働政策課、湖南市役所商工観光労働政策課 共催:ハローワーク甲賀 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀労働局、しがジョブパーク、滋賀県中小企業団体中央会 甲賀市工業会、甲賀市企業人権啓発推進協議会、湖南市工業会 公益社団法人湖南工業団地協会、湖南市企業・事業所人権啓発推進協議会 参加企業:40社 参加学生数:63名(既卒生、若年求職者含む)	日時:9/11 「甲賀市・湖南市 合同JOBフェア」 ※オンライン開催 主催:甲賀市役所商工労働政策課、湖南市役所商工観光労働政策課 協力:環びわ湖大学、地域コンソーシアム、ハローワーク甲賀、滋賀県中小企業団体中央会 甲賀市工業会、甲賀市企業人権啓発推進協議会、湖南市工業会、公益社団法人湖南工業団地協会 参加企業:25社 参加学生数:132名
	⑤ 「東近江市合同就職面接会」 ⇒ 中止	「東近江市で働く! 合同就職面接会」 ⇒ 中止 ※2019年度実績:8月に開催
	⑥ 日時:7/12 「おおつ学生・若者就職フェア2021」 場所:琵琶湖ホテル 主催:大津市 共催:ハローワーク大津、滋賀県中小企業団体中央会 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、大津商工会議所、大津北商工会、しがジョブパーク 滋賀新卒応援ハローワーク 参加企業:38社 参加学生数:49名(既卒生、若年求職者含む)	「おおつ学生・若者就職フェア2020」 ⇒ 中止 ※2019年度実績:7月に開催
	⑦ 日時:6/22 「湖北就活ナビ2021 学生就職面接会」 場所:長浜バイオ大学 主催:湖北就活ナビ実行委員会(長浜市、米原市) 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、びわ湖東北部地域連携協議会、ハローワーク長浜 湖北地域雇用対策協議会、長浜地域雇用創造協議会、滋賀県労働局 協力:長浜バイオ大学、長浜ビジネスサポート協議会、米原市商工会 参加企業:31社 参加学生数:62名	日時:10/29 「湖北就活ナビ2020 業界研究会 学生就職面接会」 場所:長浜バイオ大学 主催:湖北就活ナビ実行委員会(長浜市、米原市) 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、彦根、長浜地域連携協議会、ハローワーク長浜、湖北地域雇用対策協議会、滋賀県労働局 協力:長浜バイオ大学、長浜ビジネスサポート協議会、米原市商工会 参加企業:21社 参加学生数:①オープニングセミナー:39名、②業界研究会:51名、③就職面接会:21名
	⑧ 日時:11/22 「おおつ就職面接会2021秋」 場所:大津市役所 主催:大津市 共催:ハローワーク大津 協力:滋賀県中小企業団体中央会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム、大津商工会議所 他 参加企業:35社 参加学生数:39名(新卒:6名、既卒:33名)	「おおつ就職面接会2020秋」 ⇒ 中止 ※2019年度実績:10月に開催
	⑨ 日時:1/19 「おおつ合同就職面接会2022」 場所:大津市役所 主催:大津市 共催:ハローワーク大津 協力:滋賀県中小企業団体中央会、大津商工会議所、大津北商工会、瀬田商工会、しがジョブパーク、滋賀県地域若者サポートステーション 参加企業:35社 参加学生数:28名	日時:12/9 「おおつ就職面接会2020」 場所:琵琶湖ホテル 主催:大津市 共催:ハローワーク大津、滋賀県中小企業団体中央会 協力:大津商工会議所、大津北商工会、瀬田商工会、しがジョブパーク、滋賀県地域若者サポートステーション 参加企業:39社 参加学生数:29名
	⑩ 「東近江市で働く! 就職面接会」 ⇒ 中止	日時:2/20 「東近江市で働く! 就職面接会」 場所:能登川コミュニティセンター 主催:東近江市就労対策協議会 参加企業:20社1団体 参加学生数:9名
	⑪ 日時:2/1 「しがジョブフェア2022」 場所:クサツエスタジオホテル 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀県、株式会社東京リーガルマインド、しがジョブパーク 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業:30社 参加学生数:62名(新卒28名、既卒3年以内12名、34歳までの若年者22名)	日時:2/9 「しがジョブフェア2021」 場所:クサツエスタジオホテル 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会、しがヤングジョブパーク 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:29社 参加学生数:22名(大学生、大学院生、短大生)
	⑫ 日時:2/15 「経験を先取り! 湖北就活ナビ 業界研究会」 場所:長浜バイオ大学→オンライン開催に変更 主催:湖北就活ナビ実行委員会(長浜市、米原市) 協力:びわ湖東北部地域連携協議会 参加企業:13社 参加学生数:20名	「湖北就活ナビ 業界研究 経営者と語ろう」 ⇒ 開催なし ※2019年度実績:2月に開催
	⑬ 日時:2/22 「業界研究フェアin彦根」 場所:Zoom 主催:彦根商工会議所、彦根地区雇用対策協議会 協力:彦根市、ハローワーク彦根、滋賀県新卒応援ハローワーク、びわ湖東北部地域連携協議会	日時:2/22 「業界研究フェアin彦根」 場所:Zoom 主催:彦根商工会議所、彦根地区雇用対策協議会 協力:彦根市、ハローワーク彦根、滋賀県新卒応援ハローワーク、びわ湖東北部地域連携協議会
	⑭ 日時:3/11 「滋賀就活フェアin彦根」 場所:マリアージュ彦根 主催:彦根商工会議所、彦根地区雇用対策協議会 協力:彦根市、ハローワーク彦根、滋賀県新卒応援ハローワーク、びわ湖東北部地域連携協議会	日時:3/11 「滋賀就活フェアin彦根」 場所:マリアージュ彦根 主催:彦根商工会議所、彦根地区雇用対策協議会 協力:彦根市、ハローワーク彦根、滋賀県新卒応援ハローワーク、びわ湖東北部地域連携協議会

	2021(令和3)年度事業	2020(令和2)年度事業
2)滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会	日時 12/9 企業と大学の情報共有懇談会 場所 キラリエ草津 参加企業: 40 社 (新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止の観点から参加企業数を減らして開催) 参加大学: 10 大学 主催: 厚生労働省 滋賀労働局委託 若年者地域連携事業	日時 12/10 大学と企業との情報交流会 場所 クサツエストピアホテル 参加企業: 20 社 (新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止の観点から参加企業数を減らして開催) 参加大学: 12 大学 主催: 滋賀経済産業協会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム ※大学と滋賀経済産業協会会員企業との懇談会
3)大学就職担当者間の情報交換会・研修会の実施	日時 9/9 関係機関との意見交換会 ※オンライン開催 参加: 10大学、労働局:1名、滋賀県:1名、 滋賀県経済産業協会:1名、滋賀県中小企業団体中央会:1名、大津市:1名 長浜市:3名、草津市:1名、甲賀市:1名、東近江市:1名 環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局	日時 9/10 関係機関との意見交換会 ※オンライン開催 参加: 8大学、労働局:1名、滋賀県:1名、 大津市:1名、長浜市:1名、草津市:1名、甲賀市:1名、東近江市:1名、 環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局
	日時 1/21 大学就職担当者間の情報交換会・研修会 場所 Zoom 参加大学: 9大学 主催: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム テーマ: 県外大学のコロナ禍での取組み/学生への情報提供について	日時 1/22 大学就職担当者間の情報交換会・研修会 場所 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加大学: 12名(8大学) 主催: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム テーマ: ①「県内就職と学生の意識」、②「県内就職促進に向けた検討」
4) 学生を対象とした就職活動に活かす就職イベント(ミニ・インターンシップ)	日時 9/25 「しが就活塾」 ※オンライン開催 主催: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県 参加企業: 10社(午前5社、午後5社) 学生: 定員 午前・午後 各30名	日時 9/26 「しが就活塾」 ※オンライン開催 主催: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業: 8社(午前4社、午後4社) 学生: 30名(午前18名、午後12名)
5)企業採用経験者による模擬面接会	2021年6月 しがジョブフェア内で大学生向け模擬面接実施 実施人数: 6名	期間 5/15から7/31まで 場所 実施希望大学

## 令和3（2021）年度単位互換事業部会事業報告

### 1. 令和3年度事業報告

令和3年度の単位互換事業については、令和2年度の事業委員会で審議され、年度当初から再開することで承認された。びわこリハビリテーション専門職大学が令和3年度より参加され、13大学から対面授業や遠隔授業により実施する65科目の提供を受け開講した。

コロナ禍での対面と遠隔の切り替え、開講日の変更など、各大学にて工夫しながらの講義となった。受講生にとっては出願時からの新型コロナウイルス感染防止のための行動制限、授業体制の変化、各大学の行動指針などもあり、出願者の伸び悩みがあった。

事業としては当初のスケジュールどおり募集を開始し、追加、再追加（臨時）と行った結果、7大学から70名（重複あり）が25科目に出願した。受講登録者は当初69名であったが辞退などもあり67名が登録した。単位付与者は49名であった。

日程変更などにより受講を当初から諦め欠席せざるを得ない学生もいたが、一方で当初から遠隔授業とした科目は受講者増に繋がった。

### 2. 単位互換事業委員会結果概要

#### （1）単位互換事業委員会（書面開催）

日時：令和3年7月9日（金）

方法：メール審議（主担当校、副担当校による）

内容：PBL科目への補助について、補助要綱に基づく審議を行い妥当と判断した。

#### （2）第1回単位互換事業委員会及び担当者会議

日時：令和3年12月9日（木）10：30～

場所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局会議室

- ・令和3年度単位互換事業中間報告の説明があり承認された。
- ・令和4年度事業計画（案）について審議され承認された。
- ・令和3年度の今後のスケジュールの再確認と啓発用パンフ、ポスター作成について説明があり承認された。
- ・令和4年度の単位互換事業予算（案）について説明があり承認された。

<令和3年度は例年春に開催していた担当者部会を中止した。>

#### 【令和3年度担当校】

主担当校：滋賀県立大学

副担当校：立命館大学・びわこ成蹊スポーツ大学

## 令和3（2021）年度 単位互換事業出願・受講者数集計表

2021年度受講科目一覧(提供科目数:65科目 受講科目数: 25 科目)						
科目番号	科目提供大学名	科目名	出願者数	受講者数	単位付与者数	開講時期
01	滋賀大学	欧米の文化	2	2	0	前期集中
05	滋賀大学	環境問題を学ぶ	1	1	1	後期
06	滋賀県立大学	おうみ学生未来塾(湖東)	3	3	1	前期集中
07	滋賀県立大学	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーションー近江の暮らしとなりわい	7	7	6	前期集中
08	滋賀県立大学	地域コミュニケーション論	2	2	2	後期集中
22	成安造形大学	近江学A(おうみ学生未来塾(湖西))	2	2	2	前期集中
24	成安造形大学	琵琶湖の民俗史	1	1	1	後期集中
25	成安造形大学	デザイン史概説A	3	2	2	前期
26	成安造形大学	デザイン史概説B	2	2	2	後期
27	成安造形大学	東洋・日本美術史概説A	3	3	2	前期
28	成安造形大学	東洋・日本美術史概説B	2	2	2	後期
29	成安造形大学	西洋美術史概説A	5	5	4	前期
30	成安造形大学	西洋美術史概説B	3	3	2	後期
31	聖泉大学	滋賀論	2	2	1	前期集中
33	聖泉大学	心理学概論A	1	1	1	前期
34	聖泉大学	発達心理学	1	0	0	後期
37	長浜バイオ大学	基礎微生物学	2	2	0	前期
39	長浜バイオ大学	近江でのSDGsの実践	15	14	13	後期集中
48	龍谷大学	生活の中の数学	1	1	0	前期
51	龍谷大学	社会人類学	1	1	1	前期
53	龍谷大学	びわ湖・滋賀学	5	5	3	前期集中
55	龍谷大学	コミュニティ論	1	1	1	後期
58	龍谷大学	食と嗜好の科学	2	2	1	後期
59	龍谷大学	日本・京滋の食料	1	1	0	後期
60	立命館大学	経済学特殊講義Ⅱ(金融・証券分析基礎)	2	2	1	前期集中
総計			70	67	49	25科目
※受講者数67(当初69名)						
辞退:発達心理学1名、近江でのSDGsの実践1名						

## 2021（令和3）年度 広報事業報告

### 1. 担当 事務局

### 2. 事業報告

#### (1) ホームページの更新（2021年4月1日～2022年3月31日）

##### ① お知らせ（News）（<https://www.kanbiwa.jp/news.html>）

56件の記事を掲載

（大学地域連携課題解決支援事業 4件、学生支援事業 5件、就職支援事業 21件、  
単位互換事業 7件、その他お知らせ 19件）

##### ② コンソーシアムについて

・組織図

・役員一覧

・役員会議事録 2020(令和2)年度第2回総会

2021(令和3)年度第1回総会

・財務状況 2020(令和2)年度事業報告書、収支報告書

2021(令和3)年度事業計画、収支予算書

・加盟団体一覧 滋賀県中小企業団体中央会 連携会員に変更

##### ③ コンソーシアムの事業

各事業部会のページを2021年度の事業内容に更新

##### ③ SDGs への取組（活動報告）

・2021年度学生支援事業「SHIGA SDGs Studios+」の成果物を掲載

「SHIGA SDGs Studios+」ダイジェストムービー

「SHIGA SDGs Studios+ Booklet 2021」（デジタルブック）

「環びわ湖・大学 SDGs マップ 2021」

・SDGs 関連のイベント等 お知らせ 9件

##### ④ アクセス統計 2021年4月1日～2022年3月31日

カッコ内は、2020年10月1日～2021年3月31日（ウェブサイトのリニューアル以降）

・ユーザー数 13,171件 (3,950)

・セッション数 18,067件 (5,635)

・ページビュー数 46,955件 (21,755)

- ・ユーザーが訪れているページ（トップページを除く上位5件）

	ページ	タイトル	ページビュー数 (全体に対する割合)
1	/sdgs/index.html	SDG s への取り組み	3,718(7.92%)
2	/about/index.html	コンソーシアムについて	2,350(5.00%)
3	/business/index.html	コンソーシアムの事業	2,249(4.79%)
4	/guide/index.html	大学の紹介	1,407(3.00%)
5	/business/gokan.html	単位互換事業	1,173(2.50%)

- ・デバイス別アクセス

	デバイス カテゴリ	ユーザー数 (全体に対する割合)
1	mobile	6,634(50.43%)
2	desktop	6,273(47.69%)
3	tablet	248(1.89%)

以上

令和3年度滋賀県委託事業に係る  
県内大学等と地域のパートナーシップ推進に関する政策研究事業報告

## 1 事業目的

環びわ湖大学・地域コンソーシアムが設置され10年以上を経た今、改めて大学と地域のパートナーシップについて検討し直し、これからの10年、20年に向けたパートナーシップのあるべき姿、その実現のための方策について、大学と地域そして産業界が協力してその方向性を示すことを行いたい。これまでのコンソーシアムの活動を通じて築かれてきた三者の信頼関係の上で、大学と地域のパートナーシップのネクスト・ステージを築くことを本政策研究事業の目的とする。

## 2 事業内容

- (1) 県内大学等と地域のパートナーシップ推進のための具体的な内容について検討する。  
検討にあたっては、国の施策等の活用事例や先進地域の事例について調査するなどにより多様な知見を得るとともに、複数の大学等の教職員および企業関係者で構成される会議体を設置し、多様な意見を反映することができるようにする。
- (2) 県内大学等と地域のパートナーシップ推進に向けた提言を取りまとめる。
- (3) 調査結果、検討内容をとりまとめた報告書を作成する。

## 3 事業実施

### (1) 第1回大学連携政策事業推進委員会

開催日時：令和3年7月27日（火）16:00～18:00（対面・オンライン 併用開催）

議題：県内大学等と地域のパートナーシップ推進に関する論点

1. 大学等、地方公共団体、産業界のこれまでの連携とこれからの連携
2. 大学等、地方公共団体、産業界等での課題と将来ビジョンパートナーシップ
3. 地域プラットフォームの範囲（全県、北部と南部）

出席者：仁連 孝昭（委員長）（環びわ湖大学・地域コンソーシアム 顧問）

（委員） 鵜飼 修（滋賀県立大学地域共生センター 教授）

小辻 寿規（立命館大学共通教育推進機構 准教授）

中野 桂（滋賀大学経済学部 教授）

蔡 晃植（長浜バイオ大学 学長）

パン ジュイン（びわこ学院大学教育福祉学部子ども学科 教授）

椿原 敦子（龍谷大学社会学部社会学科 准教授）

加藤 賢治（成安造形大学地域実践領域／共通教育センター 教授）

一圓 泰成（株式会社文教スタジオ 代表取締役社長）

小高 得央（株式会社アテクト 取締役会長）

山路 哲司（東近江市 企画部企画課 課長）

戸田 由美（高島市 政策部総合戦略課 課長）

林 裕史 (草津市 総合政策部 草津未来研究所 参事)

出嶋 正伸 (甲賀市 政策推進課 次長兼課長) 【欠席】

陪席者：橋本 明郎 (滋賀県 企画調整課)、大菅 進 (環びわコンソーシアム 事務局長)

## (2) 他地域におけるパートナーシップ事業の事例調査

### ① COC+R 事業 地域の基幹産業を再定義・創新する人材育成プログラム「ENGINE」

信州大学：令和3年9月17日(金) 10:05～11:10 (オンライン)

西尾 尚子 (キャリア教育・サポートセンター 助教) 他1名

### ② ソーシャル・イノベーション創出センター (CSI)

長野県立大学：令和3年9月28日(火) 14:00～15:10 (オンライン)

秋葉 芳江 (CSI チーフ・キュレーター) 他2名

### ③ 金沢市近郊私立大学等の特色化推進プラットフォーム

金沢工業大学：令和3年11月4日(木) 10:30～11:20 (オンライン)

谷 正史 (常任理事・大学事務局長) 他1名

### ④ めぶく。プラットフォーム前橋

前橋市：令和3年11月5日(木) 10:30～11:45 (オンライン)

大森 昭生 (共愛学園前橋国際大学 学長) 他2名

### ⑤ 青森創生人材育成・定着推進協議会

弘前大学：令和3年11月9日(木) 10:30～11:40 (オンライン)

森 樹男 (副理事、人文社会科学部 教授) 他3名

### ⑥ しまね産学官人材育成コンソーシアム

島根大学：令和3年11月18日(木) 10:30～11:45 (オンライン)

松崎 貴 (地域未来協創本部長 兼 副学長 (地域協創担当)) 他4名

## (3) 第2回大学連携政策事業推進委員会

開催日時：令和3年12月15日(水) 16:00～18:00 (オンライン開催)

議題：大学連携政策推進事業の中間報告について

1. 環びわ湖大学・地域コンソーシアムのパートナーシップ活動について

2. 大学等と地域のパートナーシップに関する事例について

出席者：仁連 孝昭、鶴飼 修、小辻 寿規、中野 桂、蔡 晃植、パン ジュイン、  
椿原 敦子、加藤 賢治、一圓 泰成、小林 正彦 (滋賀経済同友会 専務理事・  
事務局長)、山路 哲司、戸田 由美、林 裕史、出嶋 正伸

陪席者：橋本 明郎、大菅 進

## (4) 最終まとめ・報告

令和4年3月に発行した報告書の最終章(第5章)において以下の提案を行った。

### 第5章 滋賀県におけるパートナーシップ推進のために(要約)

- 県内高校から大学への進学者数<県内大学への入学者数
- 県内高校から県内大学への進学割合：22%

- 県内に多様な学部・学科の存在、STEAM 人材育成のための教育研究資源の存在
- 地域の将来ビジョン、人材育成ビジョンを産学官で共有する場の未形成

#### **提案 1：高大連携による地域人材づくり**

「地域で学び生きること」の意味を早い段階で考える機会を設ける。そのため的高校と高等教育機関が地域人材育成についてのビジョンを共有し、「地域で学び生きる」ことの意味を伝えるための高大連携事業に取り組む。

「地域で学び生きること」の意味を高校生に伝えることを高校、教育委員会、高等教育機関が共通の課題にする取り組みの上で、個別の高大連携事業が展開する仕組みへの転換。

#### **提案 2：産業界とのパートナーシップによるリカレント教育**

リカレント教育については、プログラムを提供する大学側、受け入れる企業側の両方にいくつもの問題があるが、これを打開していくために、地域人材育成にとって優先的に求められる人材育成分野に絞って教える側と教えられる側が協働してプログラムづくりを進める。とりわけ、産業創出や起業できる人材育成の分野における人材育成プログラムづくりを進める。これを通じて、産学間での人材育成についてのビジョン共有が進み、産学のパートナーシップ推進が期待される。

#### **提案 3：産学官による滋賀将来ビジョン共有の場づくり**

人材育成についてのビジョンを産学官で日常的に共有する場をつくる。まず、産学官のリーダーの間で共有する場をつくることが重要であるが、すべてが一堂に会することは困難であるので、市長・町長と大学トップの懇談会、企業経営者、産業団体のトップと大学トップとの懇談会などの形で実施する。ここで一定ビジョンが共有できた段階で、産学官の実務者でチームをつくり、ビジョンを具体的なプロジェクトに落とし込み、それを実施する。またその進捗は産学官のリーダーにフィードバックする。

#### **提案 4：パートナーシップを推進するコーディネート機能の強化**

コンソーシアムの役割は産学官の間のパートナーシップを推進することが第一義である。それからすると、人的また財政的に資源をあまり持たないコンソーシアムとしては、直接実施する事業より、産学官を繋ぐ事業、産学官の連携した取組をコーディネートすることに力を注ぐべきである。連携事業がコーディネートできれば事業は連携する主体同士で実施できるものである。そのために、産学官の垣根を越えた人間関係をつくり出すことであり、県内をいくつかのブロックに分けた交流の場をつくるのが現実的である。

以上